



Anacláudia Rossbach
United Nations Under-Secretary-General
Executive Director,
United Nations Human Settlements Programme (UN-Habitat)

アナクラウディア・ロスバッハ

(Anacláudia Rossbach)

国連事務次長 /

国連人間居住計画（ハビタット）

事務局長



アナクラウディア・ロスバッハ氏（ブラジル出身）は、2024年6月7日、国連人間居住計画（UN-Habitat）の事務局長（国連事務次長レベル）に4年間の任期で任命されました。国連事務総長の指名を受けて国連総会で選出され、2024年8月12日に正式に着任しました。

ロスバッハ氏は、インフォーマルな都市居住地（スラム等）、公営住宅、都市政策といった分野において、都市、国内、国際的なレベルでの関係者と協働しながら官民・市民セクターにおける戦略の設計および実施に20年以上携わった経験を持つエコノミストです。

UN-Habitatの事務局長に任命される前は、南米・カリブ海地域においてリンカーン土地政策研究所の長を務めていました。また、2014年から2022年まで、都市同盟 (Cities Alliance) で南米とカリブ海地域のマネージャーを務め、地域レベルでの知見の共有を促進するとともに、ブラジル、ジャマイカ、ハイチ、グアテマラ、エルサルバドル、メキシコ、チリ、パラグアイなどの国々で住宅と都市政策に関する政策助言に従事したほか、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対応して、インフォーマル・セクターに関するグローバル・プログラムを主導しました。

2005年から2014年にかけては、世界銀行で上級住宅専門家を務め、ブラジル、インド、モザンビーク、フィリピン、南アフリカなどで大規模な住宅およびインフォーマル居住地の改善プログラム構築を主導するなど、世界中の国々で住宅問題を解決するための技術支援を実施し、ハイレベルの政策対話を促進しました。

彼女はサンパウロ市に勤務した経験もあり、Slums Dwellers Internationalと提携している非政府組織 Interação の創設ディレクターを務め、ブラジルのサンパウロ州とレシフェ市のインフォーマルコミュニティで実施した事業は、大きな影響力をもちました。

ロスバッハ氏はブラジルのサンパウロ・カトリック大学で経済学の学士号と政治経済学の修士号を取得しています。英語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語について流暢であるほか、フランス語は中級レベルです。